

## ICT を活用した学習場面

### B3 思考を深める学習, C2 共同での意見整理

算数科

1年3組 藤井 陽祐

単元名 かずをせいりして (1/2)

本時のねらい： 友だちの誕生日について、カードの並べ方を考えたり、誕生日の多さが分かりやすい並べ方を話し合ったりすることを通して、表し方を工夫し、人数の多い月や同じ人数の月などの特徴を捉えることができるようにする。【D(1)イ(ア)】

評価規準： 友だちの誕生日について、表し方を工夫し、人数の多い月や同じ人数の月などの特徴を捉えている。  
(発言、ノート)【思考・判断・表現】

#### 指導の流れ

##### 児童の活動 (ICT 活用の様子)・ICT 活用のねらいや留意点

1. 外国語で友だちの誕生日を聞いたことを想起し、本時のめあてを確認する。
2. 提示された2月～6月生まれの友だちの散在したカードについて、ロイロノートを使って、数が見やすいように並べ方を考える。



- ・ロイロノート上で誕生日のカードを操作することで、カードの操作や修正を容易にできるようにする。
  - ・TVに児童のロイロノートを映し、考えを視覚化し共有できるようにする。
3. 考えた並べ方を出し合い、数が見やすい並べ方についてまとめる。
  4. 今日分かった並べ方で調べたいことは何かという視点で、振り返りをする。

#### ICT 活用の効果 (困りが解決されたか)

成果：これまで、カードを作成・印刷して一人分に切って児童に渡していた。また、児童に渡しても机上の操作が難しく、それぞれがどのような操作をしたか共有することが難しかった。今回ロイロノート上で操作をしたことで、カード作成が簡単になったと同時に、児童はロイロノートを見合うなどして考えを共有することもできた。

課題：児童の多様な考えをロイロノートで一度に示すことが難しい。2人分の比較まではTVで確認できるが、多くなるとTVでは見えにくい。他の児童の考えを紹介するときに画面を切り替えなければならず、考えを残しながら他の考えを見て比べることができなかった。児童に画面配信する形式も使ったが、その場合自分の考えが見られなくなるため、自分の考えと比較することが難しかった。このように、今後は児童の考えを比較する際の表示の仕方や、考えの残し方、板書とのバランスが課題である。